

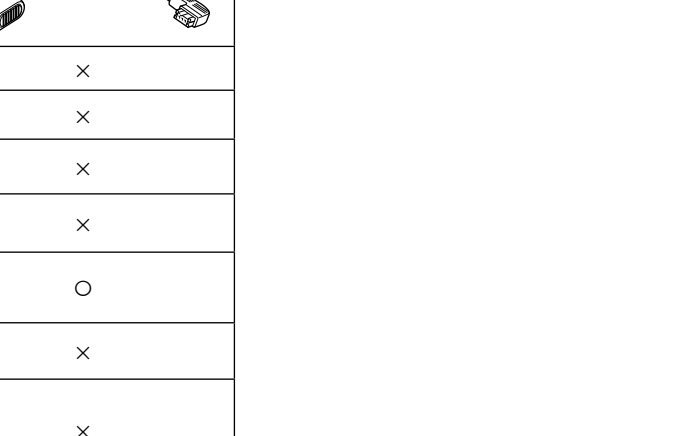
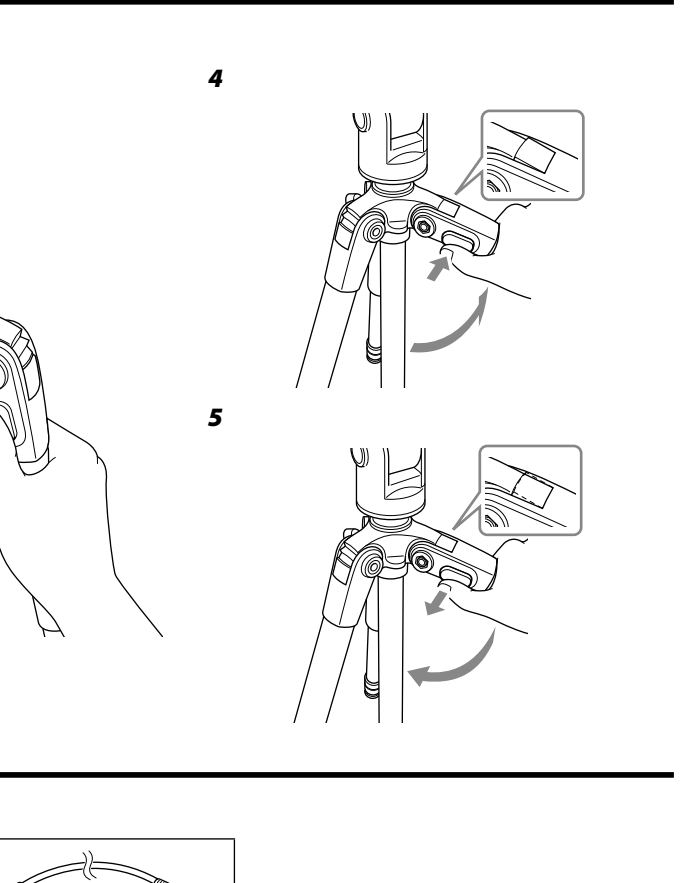
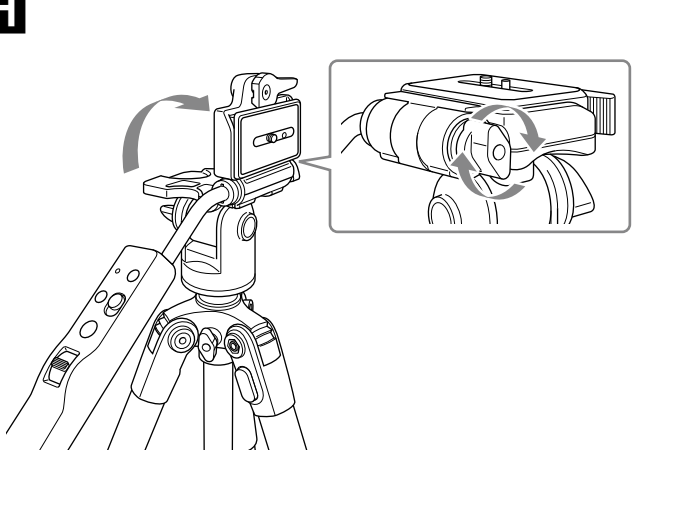
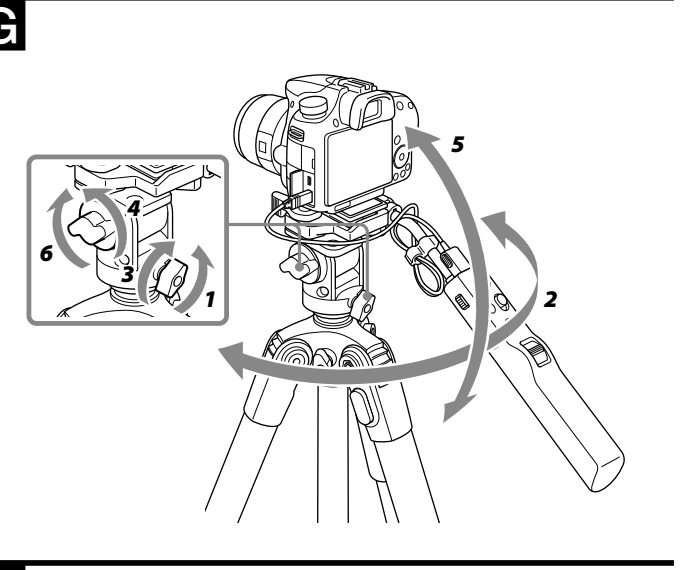
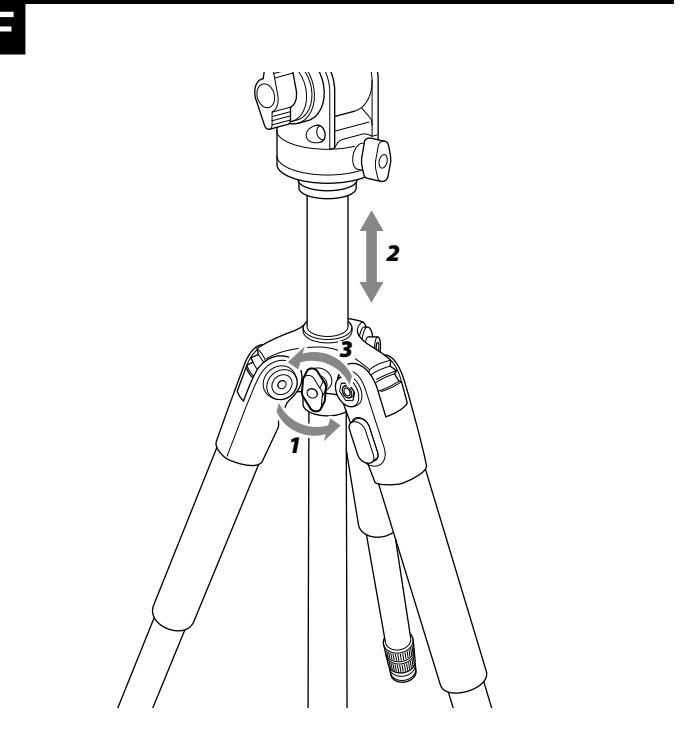
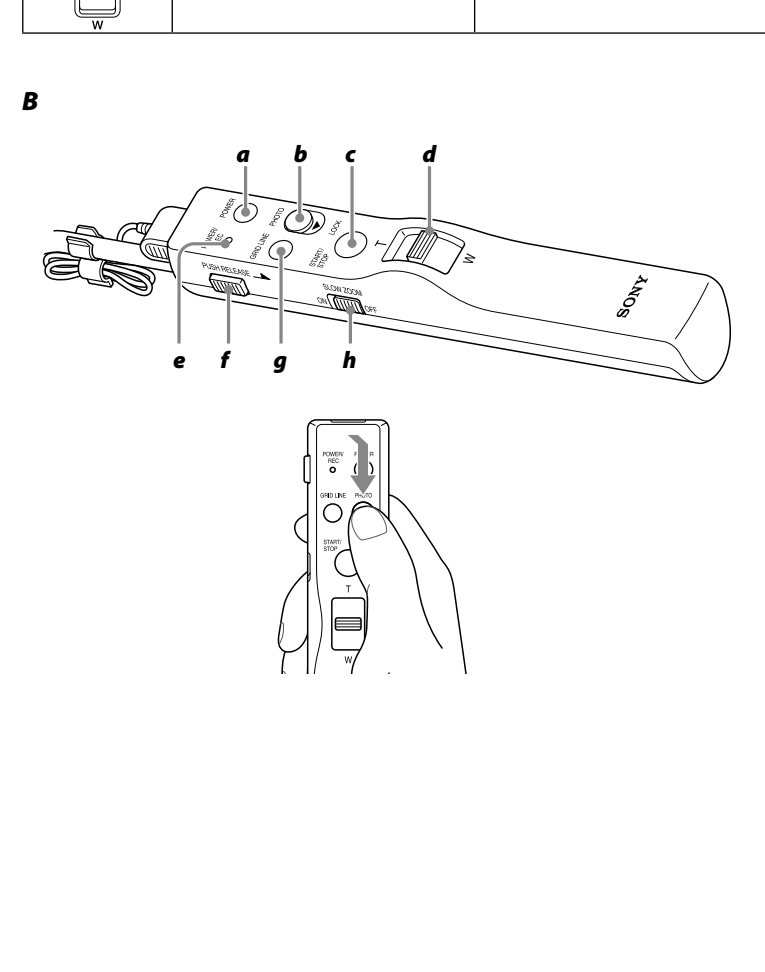
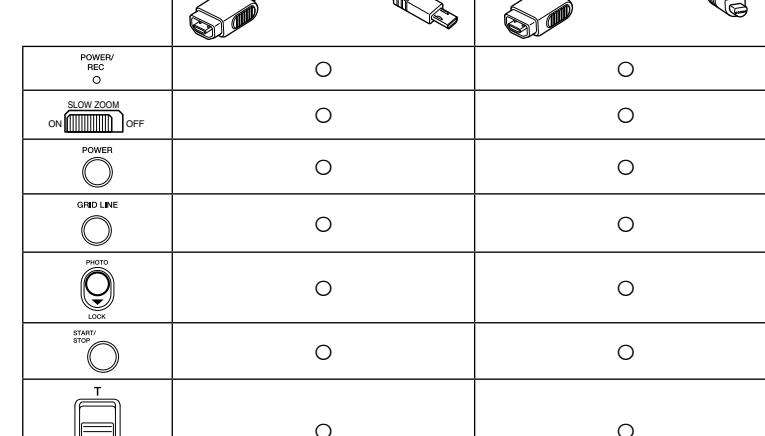
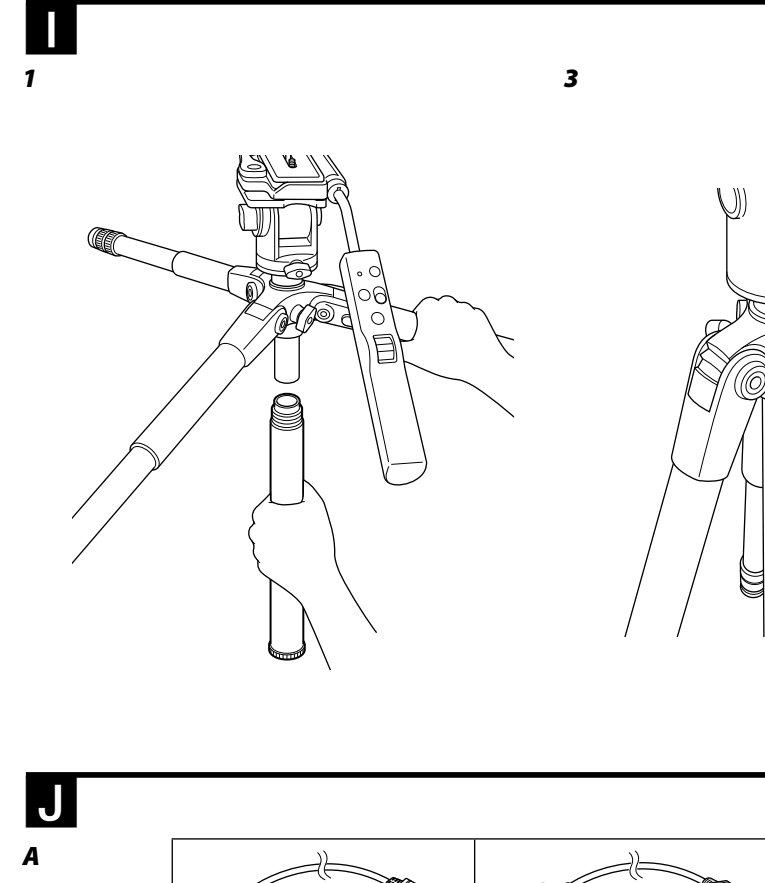
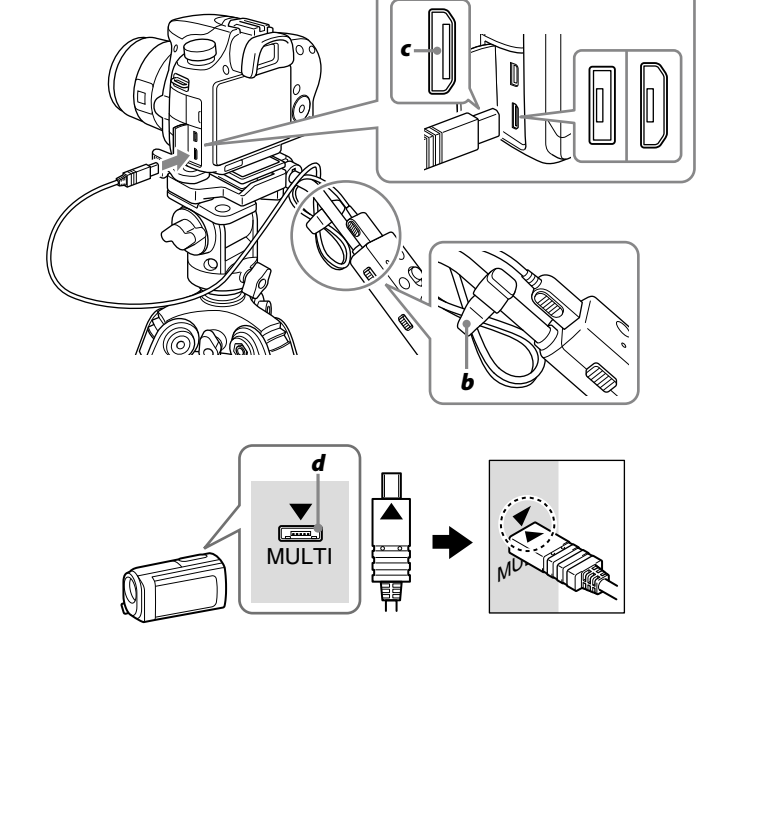
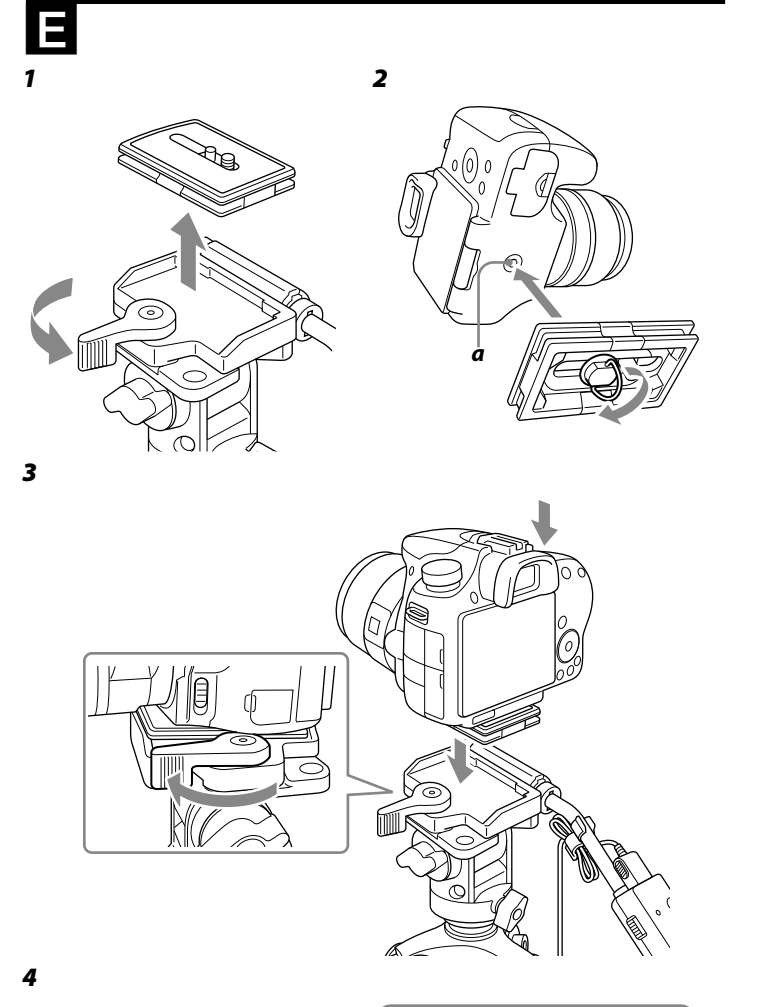
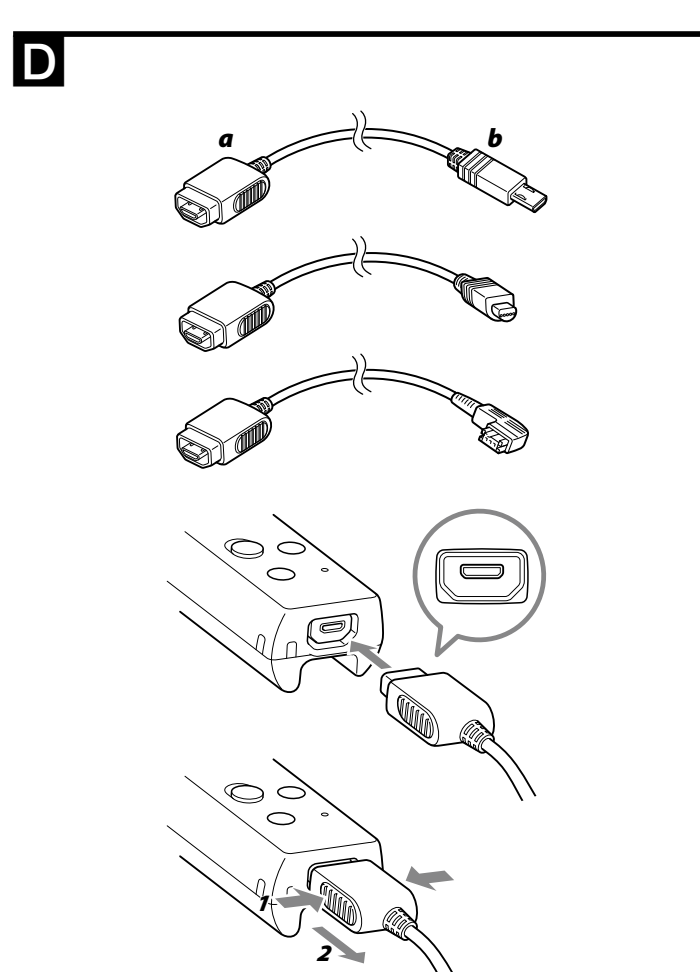
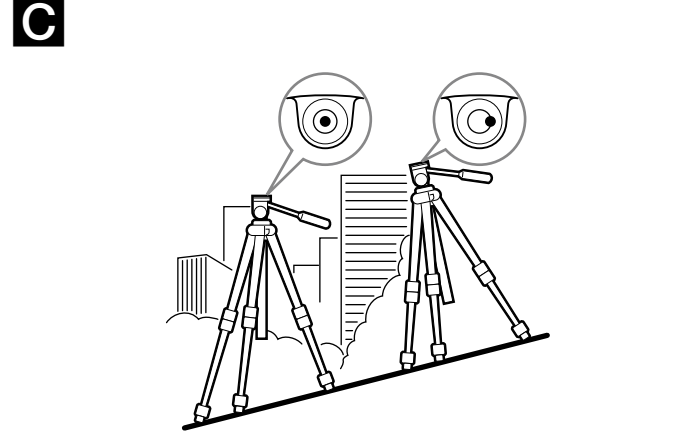
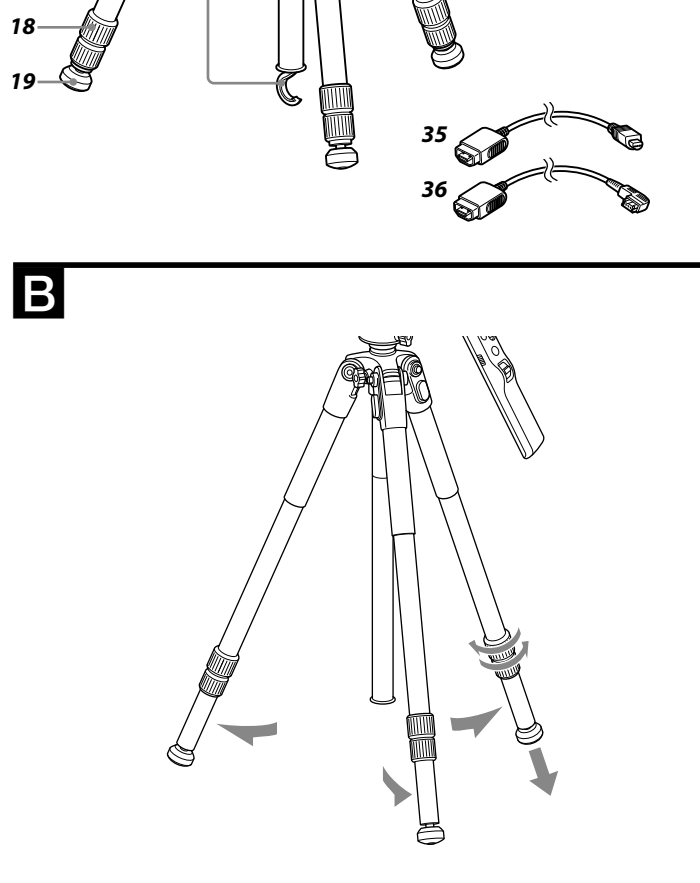
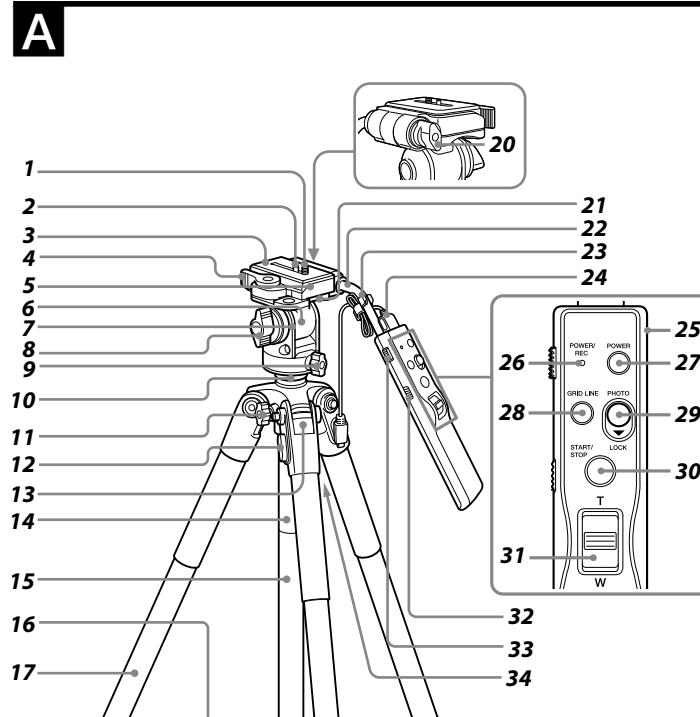
リモコン三脚 Remote Control Tripod Trépied à télécommande

取扱説明書

- Operating Instructions
- Mode d'emploi
- Bedienungsanleitung
- Manual de instrucciones
- Gebruiksaanwijzing
- 使用说明书

VCT-VPR10

©2013 Sony Corporation Printed in China



日本語

お読みいただけます。ご了承ください。

警告 取扱製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故にすることがあります。

この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いについてを示しています。この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

●**安全のための注意事項を守る**

●**故障したらまず、お買い上げ店またはソニーの相談窓口**に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

注意 取扱製品は安全のための注意事項を守らないと、感電やその他の事故に巻き込まれるおそれがあります。

注意を促す記号 行方を指示する記号

注意 下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。

開閉してからカメラを取り付ける

脚を閉じたまま取り付けたら、転倒してカメラを破損したりけがの原因になることがあります。

積載カメラ重量を守る

制限重量を超えたと、三脚が倒れたりしてけがの原因となることがあります。

各ロックつまみやレバーおよび脚ロックナット、カメラネジなどの締め付け部分は確実に締め付けて固定する

レバーやつまみを、ずらしたりはねたりして、カメラの破損や人にけがを負わせる原因となることがあります。

脚の出し入れ、エレベーターの操作には充分注意を払う

指などをはか、思わぬけがをすることがあります。

使用上のご注意

カメラを取りはずすには、必ず、カメラを持ってはさしてください。クイックシュー固定レバーを緩めると、クイックシューが自動的にご脚からはずれ、カメラが落下する恐れがあります。

持ち運びについて

● 使い終わったら、①カメラをはずす、②収納し、③(ハンドル)の操作部を外側に向けてたななください。

● カメラを取り付けたまま、持ち歩かないでください。

お手入れについて

● 汚れたら、やわらかい布に中性洗剤溶液を含ませてふいてから、乾いた布でふき取ってください。

● 海岸など、潮風の当たった所で使用したあとは、乾いた布でよくふいてください。

特長

● この三脚はカメラなどにお使いいただける、リモコン機能付き三脚です。

● (ハンドル)のリモコンで、ソニーのマルチ端子またはAV/リモート端子またはREMOTE(リモート)端子付きカメラを操作することができます。すべてのカメラに対応している訳ではありません。対応機種については、ホームページ「カメラ」をご覧ください。

● リモコンには撮影の基本機能(電源のON/OFF、動画撮影、静止画撮影、ズーム)のほか、スローズームのON/OFF、グリッドライン表示のON/OFF機能があります。

● 油圧式(ハンドル)ですので、パン/ティルトを滑らかに行えます。

英語

Before operating the product, please read this manual thoroughly and retain it for future reference.

WARNING

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose the unit to rain or moisture.

Do not place objects filled with liquids, such as vases, on the apparatus.

This product has been tested and found compliant with the limits set out in the EMC regulation pursuant to Part 15 of the FCC Rules.

These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

The supplied interface cable must be used with the equipment in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

For the Customers in Europe

Disposal of Old Electrical & Electronic Equipment (Applicable in the European Union and other European countries with separate collection systems)

This symbol on the product or on its packaging indicates that this product shall not be treated as household waste. Instead it shall be handed over to the applicable collection point for the recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this pinlock is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local Civic Office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

Notice for the customers in the countries applying EU Directives

The manufacturer of this product is Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japan. The Authorized Representative for EMC and product safety is Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70372 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters please refer to the address given in separate service or guarantee documents.

Removal of the camera

When shooting stills, clean it with a soft cloth lightly moistened with a mild detergent solution. Then, wipe the tripod clean with a dry cloth.

After using the tripod on the beach or in places subject to sea breezes, wipe it clean with a dry cloth.

Specifications

- 1 Camera mounting screw
- 2 Pin
- 3 Camera mounting shoe
- 4 Camera mounting shock lock
- 5 Shoe base
- 6 Positioning mark (Tripod head body)
- 7 Pan lock lever
- 8 Pan lock lever
- 9 Damper ring
- 10 Elevator lock lever
- 12 Leg angle adjustment button
- 13 Leg angle locking lever
- 14 Elevator A
- 15 Elevator B
- 16 Hook
- 17 Leg
- 18 Leg length adjustment locking
- 19 Rubber feet (with spikes)
- 20 Pan handle lock lever
- 21 Level
- 22 Pan handle
- 23 Cable clamp
- 24 Connecting cable for Multi Terminal*
- 25 Strap hold
- 26 POWER REC Lamp
- 27 POWER button
- 28 GRID LINE button
- 29 START/STOP button
- 30 Zoom lever
- 32 SLOW ZOOM switch
- 33 PUSH RELEASE button
- 34 Tripod strap hole
- 35 Connecting cable for A/V Remote Terminal

高さ

エレベーターストッパーを緩める。

カメラ台を上下に動かす。必要に応じて合わせる。

エレベーターストッパーを締める。

高さ

エレベーターストッパーを緩める際は、カメラ台が急に下がらないよう手で支えながら行って下さい。

高さ調節後、エレベーターストッパーは確実に締め付けて下さい。

パンニング/ティルト

エレベーターストッパーがしっかりと締まっていることを確認してから、パンニング/ティルトは行ってください。締めかたが充分でないとし、画像がゆれる原因になります。

パンニング

カメラを360°回転させることができます。

1 パントッパーを緩める。

2 (ハンドル)を左右方向の希望の位置に動かす。カメラ位置を調節する。

3 パントッパーを締める。

ティルト

カメラを上/下に向けて撮影することができます。

4 ティルトストッパーを緩める。

5 (ハンドル)を上下方向の希望の位置に動かす。カメラ位置を調節する。

6 ティルトストッパーを締める。

ご注意

この三脚はローポジション対応のためエレベータが2つに分かれている。エレベータとエレベーターストッパーを本体裏面に貼られている脚ロックナットの状態で見合わせて調整してください。

エレベータを上げてパンニングするときにはエレベータとエレベータBをしっかり締める。必ずパンニングを緩めてご使用下さい。

(パン)は、ホームポジションを越えて調整したときは絶対に使用しないでください。故障の原因となります。エレベーターストッパーを緩めながら、パンニング、ティルト調整してください。

お使いのカメラによってはグリッドラインを複数種類選択できます。GRID LINEボタンを押すたびに切り替えることができます。詳しくはカメラの取扱説明書をご参照ください。

グリッドライン表示を解除するには、表示が消えるまでGRID LINEボタンを押してください。

写真はイメージです。実際の画面表示とは異なります。

撮影が終わったら

リモコンのPOWERボタンを押して電源を切る。

三脚をたたむ

1 三脚からカメラをはずす。

2 パントッパー、ティルトストッパーを緩めて、(ハンドル)をたたむ。

3 パントッパー、ティルトストッパーを締める。

4 3本の脚の脚ロックナットを締めて、脚をたたむ。

5 脚ロックナットを確実に固定する。

持ち運びについて

持ち運ぶケースに入れてください。

ご注意

カメラを取り付けたままで、持ち歩かないでください。

主な仕様

積載カメラ重量	4kg以下
パンニング角	360度
ティルトティルト角	前傾90度、後傾70度
脚径数	3脚
リモコン機能	POWERボタン、PHOTOボタン、START/STOPボタン、ズームレバー(T/W)、GRID LINEボタン、PUSH RELEASEボタン、SLOW ZOOMスイッチ
外形寸法	全高 約1700mm(脚部縮め230mm)
	延長ケーブルの長さ 約900mm
	(ハンドル)の長さ 約260mm
	エレベーター スライド 約390mm
使用温度範囲	0℃ - 40℃
質量	約2.1kg
付属品	キャリングケース(1個)、マルチ端子用接続ケーブル(1本)、A/Vリモート端子用接続ケーブル(1本)、REMOTE(リモート)端子接続ケーブル(1本)、印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できない場合は、ご要望により有料修理させていただきます。詳しくは、お客様センターへお問い合わせください。

注意事項

- 本製品の修理には、修理費用がかかります。
- 本製品の修理には、修理費用がかかります。
- 本製品の修理には、修理費用がかかります。

カメラ台の位置

カメラの縦位置調節ができます。

(ハンドル)を緩めカメラ台を右側へ起こし、(ハンドル)パントッパーを締める。

ご注意

- カメラの重心位置によっては任意の位置で固定できない場合や三脚が不安定になる場合があります。
- カメラ台を起こしたり戻したりする際、カメラに衝撃が加からないようにゆっくり行ってください。
- 位置を変えたあとは(ハンドル)ストッパーを確実に締め付けてください。
- (ハンドル)ストッパーを緩めすぎると(ハンドル)が外れる場合がありますのでご注意ください。

脚部角度の設定方法

脚部角度ストッパーを上げることで、脚部角度を23度/50度/75度に調節することができます。

ローポジション/セミローポジション

1 ローポジションでエレベーターが前面に当たる場合はあらかじめエレベータBを取り外す。

2 脚を少し閉じる。

3 脚角度調節ボタンを押す。

4 (ハンドル)を上下に動かして調整する。

5 希望の角度になったら脚角度調節ボタンを押し、脚角度ストッパーが元の位置に下がった後8秒間保持して固定します。

ご注意

- 最初に脚を少し閉じないで脚角度調節ボタンが固くて動かない場合があります。また、脚角度調節ボタンストッパーに固着した場合は確実に調整してください。
- ローポジションでエレベーターを使用しているときは、脚を伸ばすと強度が十分残らないので脚を伸ばさないでください。
- ローポジションの際はリモコンが地面に当たらないよう注意してご使用下さい。

リモコンで操作する

お手持ちのカメラの取扱説明書もあわせてお読みください。ご使用するケーブルによって操作できるボタン/スイッチ/ランプの対応が異なります(A)。

● 有効にご注意。カメラによっては対応していない場合もあります。

● 不明

電源を入れる

1 カメラの電源を入れ、スタンバイ状態にする。

2 リモコンのPOWER/RECランプ(LED)が緑色に点灯します。

3 カメラを動画または静止画の状態に入ります。

ご注意

スタンバイ状態がしばらく続くこと、自動的に電源が切れます。再び、スタンバイ状態にするには、リモコンのPOWERボタン(A)を押して電源を入れます。

動画を撮影するには

START/STOPボタン(B)を押す。POWER/RECランプが赤色に点灯して、撮影が始まります。

撮影を止めるには、もう一度START/STOPボタンを押す。POWER/RECランプが緑色に点灯して、スタンバイ状態になります。

静止画を撮影するには

PHOTOボタン(C)を半押ししてピントを合わせてから、止まるまで押し込む。

ロック機能について(B)

パルプ撮影や連続撮影をするとき、PHOTOボタンを押した状態を保持することができます。PHOTOボタンを強く押し込んだまま押し込んだまま、矢印の方向にスライドさせる。

(B)パルプ撮影時はロックしている間、シャッターが切れ続きます。

連続撮影時はロックしている間、シャッターが切れ続きます。

ご注意

- (B)パルプ撮影や連続撮影は全てのカメラで対応しているわけではありません。詳しくはカメラの取扱説明書をご参照ください。
- 故障の原因となる場合がありますのでPHOTOボタンを強く押し込んだり、強くスライドさせないでください。
- ロック状態のまま放置しないでください。

リモコンの取りはずしについて(C)

静止画を撮影するときは、リモコンを取りはずしてPHOTOボタンを押すと、プルを防止することができます。

PUSH RELEASEボタン(D)を押し、片手で三脚を抑えながら、リモコンを引き抜く。

リモコンを取り付ける際は、三脚を抑えながらPUSH RELEASEボタン(D)がカチッと音がするまでリモコンをゆっくり押し込んでください。

ズームする

ズームレバー(E)を傾ける。

● (側)近接: 被写体が大きく写る。

● (側)広角: 被写体が小さく写る。

ズームレバーを傾ける角度によって、ズーム速度が変わります。

スローズームする

SLOW ZOOMスイッチ(H)をONにする。

ズームレバーを傾ける角度に関係なく、ズームは遅い速度に固定されます。

スローズームを解除するには、SLOW ZOOMスイッチをOFFにする。

ご注意

- スローズームの速度はカメラにより異なります。
- POWER/RECランプが赤色に点灯した場合は、画面に警告表示が出ているので、カメラの表示を確認してください。

グリッドラインを表示させる(D)

GRID LINEボタン(G)を押す。

カメラの画面に水平・垂直のグリッドラインが表示されます。グリッドラインに合わせて三脚の脚やティルトを調整してください。

English

Before operating the product, please read this manual thoroughly and retain it for future reference.

WARNING

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose the unit to rain or moisture.

Do not place objects filled with liquids, such as vases, on the apparatus.

This product has been tested and found compliant with the limits set out in the EMC regulation pursuant to Part 15 of the FCC Rules.

These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

The supplied interface cable must be used with the equipment in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

For the Customers in Europe

Disposal of Old Electrical & Electronic Equipment (Applicable in the European Union and other European countries with separate collection systems)

This symbol on the product or on its packaging indicates that this product shall not be treated as household waste. Instead it shall be handed over to the applicable collection point for the recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this pinlock is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local Civic Office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

Notice for the customers in the countries applying EU Directives

The manufacturer of this product is Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japan. The Authorized Representative for EMC and product safety is Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70372 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters please refer to the address given in separate service or guarantee documents.

Removal of the camera

When shooting stills, clean it with a soft cloth lightly moistened with a mild detergent solution. Then, wipe the tripod clean with a dry cloth.

After using the tripod on the beach or in places subject to sea breezes, wipe it clean with a dry cloth.

Specifications

- 1 Camera mounting screw
- 2 Pin
- 3 Camera mounting shoe
- 4 Camera mounting shock lock
- 5 Shoe base
- 6 Positioning mark (Tripod head body)
- 7 Pan lock lever
- 8 Pan lock lever
- 9 Damper ring
- 10 Elevator lock lever
- 12 Leg angle adjustment button
- 13 Leg angle locking lever
- 14 Elevator A
- 15 Elevator B
- 16 Hook
- 17 Leg
- 18 Leg length adjustment locking
- 19 Rubber feet (with spikes)
- 20 Pan handle lock lever
- 21 Level
- 22 Pan handle
- 23 Cable clamp
- 24 Connecting cable for Multi Terminal*
- 25 Strap hold
- 26 POWER REC Lamp
- 27 POWER button
- 28 GRID LINE button
- 29 START/STOP button
- 30 Zoom lever
- 32 SLOW ZOOM switch
- 33 PUSH RELEASE button
- 34 Tripod strap hole
- 35 Connecting cable for A/V Remote Terminal

調整

エレベーターストッパーを緩める。

カメラ台を上下に動かす。必要に応じて合わせる。

エレベーターストッパーを締める。

高さ

エレベーターストッパーを緩める際は、カメラ台が急に下がらないよう手で支えながら行って下さい。

高さ調節後、エレベーターストッパーは確実に締め付けて下さい。

パンニング/ティルト

エレベーターストッパーがしっかりと締まっていることを確認してから、パンニング/ティルトは行ってください。締めかたが充分でないとし、画像がゆれる原因になります。

パンニング

カメラを360°回転させることができます。

1 パントッパーを緩める。

2 (ハンドル)を左右方向の希望の位置に動かす。カメラ位置を調節する。

3 パントッパーを締める。

ティルト

カメラを上/下に向けて撮影することができます。

4 ティルトストッパーを緩める。

5 (ハンドル)を上下方向の希望の位置に動かす。カメラ位置を調節する。

6 ティルトストッパーを締める。

ご注意

この三脚はローポジション対応のためエレベータが2つに分かれている。エレベータとエレベーターストッパーを本体裏面に貼られている脚ロックナットの状態で見合わせて調整してください。

エレベータを上げてパンニングするときにはエレベータとエレベータBをしっかり締める。必ずパンニングを緩めてご使用下さい。

(パン)は、ホームポジションを越えて調整したときは絶対に使用しないでください。故障の原因となります。エレベーターストッパーを緩めながら、パンニング、ティルト調整してください。

お使いのカメラによってはグリッドラインを複数種類選択できます。GRID LINEボタンを押すたびに切り替えることができます。詳しくはカメラの取扱説明書をご参照ください。

グリッドライン表示を解除するには、表示が消えるまでGRID LINEボタンを押してください。

写真はイメージです。実際の画面表示とは異なります。

撮影が終わったら

リモコンのPOWERボタンを押して電源を切る。

三脚をたたむ

1 三脚からカメラをはずす。

2 パントッパー、ティルトストッパーを緩めて、(ハンドル)をたたむ。

3 パントッパー、ティルトストッパーを締める。

4 3本の脚の脚ロックナットを締めて、脚をたたむ。

5 脚ロックナットを確実に固定する。

持ち運びについて

持ち運ぶケースに入れてください。

ご注意

カメラを取り付けたままで、持ち歩かないでください。

主な仕様

積載カメラ重量	4kg以下
パンニング角	360度
ティルトティルト角	前傾90度、後傾70度
脚径数	3脚
リモコン機能	POWERボタン、PHOTOボタン、START/STOPボタン、ズームレバー(T/W)、GRID LINEボタン、PUSH RELEASEボタン、SLOW ZOOMスイッチ
外形寸法	全高 約1700mm(脚部縮め230mm)
	延長ケーブルの長さ 約900mm
	(ハンドル)の長さ 約260mm
	エレベーター スライド 約390mm
使用温度範囲	0℃ - 40℃
質量	約2.1kg
付属品	キャリングケース(1個)、マルチ端子用接続ケーブル(1本)、A/Vリモート端子用接続ケーブル(1本)、REMOTE(リモート)端子接続ケーブル(1本)、印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できない場合は、ご要望により有料修理させていただきます。詳しくは、お客様センターへお問い合わせください。

注意事項

- 本製品の修理には、修理費用がかかります。
- 本製品の修理には、修理費用がかかります。
- 本製品の修理には、修理費用がかかります。

カメラ台の位置

カメラの縦位置調節ができます。

(ハンドル)を緩めカメラ台を右側へ起こし、(ハンドル)パントッパーを締める。

ご注意

- カメラの重心位置によっては任意の位置で固定できない場合や三脚が不安定になる場合があります。
- カメラ台を起こしたり戻したりする際、カメラに衝撃が加からないようにゆっくり行ってください。
- 位置を変えたあとは(ハンドル)ストッパーを確実に締め付けてください。
- (ハンドル)ストッパーを緩めすぎると(ハンドル)が外れる場合がありますのでご注意ください。

脚部角度の設定方法

脚部角度ストッパーを上げることで、脚部角度を23度/50度/75度に調節することができます。

ローポジション/セミローポジション

1 ローポジションでエレベーターが前面に当たる場合はあらかじめエレベータBを取り外す。

2 脚を少し閉じる。

3 脚角度調節ボタンを押す。

4 (ハンドル)を上下に動かして調整する。

5 希望の角度になったら脚角度調節ボタンを押し、脚角度ストッパーが元の位置に下がった後8秒間保持して固定します。

ご注意

- 最初に脚を少し閉じないで脚角度調節ボタンが固くて動かない場合があります。また、脚角度調節ボタンストッパーに固着した場合は確実に調整してください。
- ローポジションでエレベーターを使用しているときは、脚を伸ばすと強度が十分残らないので脚を伸ばさないでください。
- ローポジションの際はリモコンが地面に当たらないよう注意してご使用下さい。

リモコンで操作する

お手持ちのカメラの取扱説明書もあわせてお読みください。ご使用するケーブルによって操作できるボタン/スイッチ/ランプの対応が異なります(A)。

● 有効にご注意。カメラによっては対応していない場合もあります。

● 不明

電源を入れる

1 カメラの電源を入れ、スタンバイ状態にする。

2 リモコンのPOWER/RECランプ(LED)が緑色に点灯します。

3 カメラを動画または静止画の状態に入ります。

ご注意

スタンバイ状態がしばらく続くこと、自動的に電源が切れます。再び、スタンバイ状態にするには、リモコンのPOWERボタン(A)を押して電源を入れます。

動画を撮影するには

START/STOPボタン(B)を押す。POWER/RECランプが赤色に点灯して、撮影が始まります。

撮影を止めるには、もう一度START/STOPボタンを押す。POWER/RECランプが緑色に点灯して、スタンバイ状態になります。

静止画を撮影するには

PHOTOボタン(C)を半押ししてピントを合わせてから、止まるまで押し込む。

ロック機能について(B)

パルプ撮影や連続撮影をするとき、PHOTOボタンを押した状態を保持することができます。PHOTOボタンを強く押し込んだまま押し込んだまま、矢印の方向にスライドさせる。

(B)パルプ撮影時はロックしている間、シャッターが切れ続きます。

連続撮影時はロックしている間、シャッターが切れ続きます。

ご注意

- (B)パルプ撮影や連続撮影は全てのカメラで対応しているわけではありません。詳しくはカメラの取扱説明書をご参照ください。
- 故障の原因となる場合がありますのでPHOTOボタンを強く押し込んだり、強くスライドさせないでください。
- ロック状態のまま放置しないでください。

リモコンの取りはずしについて(C)

静止画を撮影するときは、リモコンを取りはずしてPHOTOボタンを押すと、プルを防止することができます。

PUSH RELEASEボタン(D)を押し、片手で三脚を抑えながら、リモコンを引き抜く。

リモコンを取り付ける際は、三脚を抑えながらPUSH RELEASEボタン(D)がカチッと音がするまでリモコンをゆっくり押し込んでください。

ズームする

ズームレバー(E)を傾ける。

● (側)近接: 被写体が大きく写る。

● (側)広角: 被写体が小さく写る。

ズームレバーを傾ける角度によって、ズーム速度が変わります。

スローズームする

SLOW ZOOMスイッチ(H)をONにする。

ズームレバーを傾ける角度に関係なく、ズームは遅い速度に固定されます。

スローズームを解除するには、SLOW ZOOMスイッチをOFFにする。

ご注意

- スローズームの速度はカメラにより異なります。
- POWER/RECランプが赤色に点灯した場合は、画面に警告表示が出ているので、カメラの表示を確認してください。

グリッドラインを表示させる(D)

GRID LINEボタン(G)を押す。

カメラの画面に水平・垂直のグリッドラインが表示されます。グリッドラインに合わせて三脚の脚やティルトを調整してください。

調整

エレベーターストッパーを緩める。

カメラ台を上下に動かす。必要に応じて合わせる。

エレベーターストッパーを締める。

高さ

エレベーターストッパーを緩める際は、カメラ台が急に下がらないよう手で支えながら行って下さい。

高さ調節後、エレベーターストッパーは確実に締め付けて下さい。

パンニング/ティルト

エレベーターストッパーがしっかりと締まっていることを確認してから、パンニング/ティルトは行ってください。締めかたが充分でないとし、画像がゆれる原因になります。

パンニング

カメラを360°回転させることができます。

1 パントッパーを緩める。

2 (ハンドル)を左右方向の希望の位置に動かす。カメラ位置を調節する。

3 パントッパーを締める。

ティルト

カメラを上/下に向けて撮影することができます。

4 ティルトストッパーを緩める。

5 (ハンドル)を上下方向の希望の位置に動かす。カメラ位置を調節する。

6 ティルトストッパーを締める。

ご注意

この三脚はローポジション対応のためエレベータが2つに分かれている。エレベータとエレベーターストッパーを本体裏面に貼られている脚ロックナットの状態で見合わせて調整してください。

エレベータを上げてパンニングするときにはエレベータとエレベータBをしっかり締める。必ずパンニングを緩めてご使用下さい。

(パン)は、ホームポジションを越えて調整したときは絶対に使用しないでください。故障の原因となります。エレベーターストッパーを緩めながら、パンニング、ティルト調整してください。

お使いのカメラによってはグリッドラインを複数種類選択できます。GRID LINEボタンを押すたびに切り替えることができます。詳しくはカメラの取扱説明書をご参照ください。

グリッドライン表示を解除するには、表示が消えるまでGRID LINEボタンを押してください。

写真はイメージです。実際の画面表示とは異なります。

撮影が終わったら

リモコンのPOWERボタンを押して電源を切る。

三脚をたたむ

1 三脚からカメラをはずす。

2 パントッパー、ティルトストッパーを緩めて、(ハンドル)をたたむ。

3 パントッパー、ティルトストッパーを締める。

4 3本の脚の脚ロックナットを締めて、脚をたたむ。

5 脚ロックナットを確実に固定する。

持ち運びについて

持ち運ぶケースに入れてください。

ご注意

カメラを取り付けたままで、持ち歩かないでください。

主な仕様

積載カメラ重量	4kg以下
パンニング角	360度
ティルトティルト角	前傾90度、後傾70度
脚径数	3脚
リモコン機能	POWERボタン、PHOTOボタン、START/STOPボタン、ズームレバー(T/W)、GRID LINEボタン、PUSH RELEASEボタン、SLOW ZOOMスイッチ
外形寸法	全高 約1700mm(脚部縮め230mm)
	延長ケーブルの長さ 約900mm
	(ハンドル)の長さ 約260mm
	エレベーター スライド 約390mm
使用温度範囲	0℃ - 40℃
質量	約2.1kg
付属品	キャリングケース(1個)、マルチ端子用接続ケーブル(1本)、A/Vリモート端子用接続ケーブル(1本)、REMOTE(リモート)端子接続ケーブル(1本)、印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できない場合は、ご要望により有料修理させていただきます。詳しくは、お客様センターへお問い合わせください。

注意事項

- 本製品の修理には、修理費用がかかります。
- 本製品の修理には、修理費用がかかります。
- 本製品の修理には、修理費用がかかります。

カメラ台の位置

カメラの縦位置調節ができます。

(ハンドル)を緩めカメラ台を右側へ起こし、(ハンドル)パントッパーを締める。

ご注意

- カメラの重心位置によっては任意の位置で固定できない場合や三脚が不安定になる場合があります。
- カメラ台を起こしたり戻したりする際、カメラに衝撃が加からないようにゆっくり行ってください。
- 位置を変えたあとは(ハンドル)ストッパーを確実に締め付けてください。
- (ハンドル)ストッパーを緩めすぎると(ハンドル)が外れる場合がありますのでご注意ください。

脚部角度の設定方法

脚部角度ストッパーを上げることで、脚部角度を23度/50度/75度に調節することができます。

ローポジション/セミローポジション

1 ローポジションでエレベーターが前面に当たる場合はあらかじめエレベータBを取り外す。

2 脚を少し閉じる。

3 脚角度調節ボタンを押す。

4 (ハンドル)を上下に動かして調整する。

5 希望の角度になったら脚角度調節ボタンを押し、脚角度ストッパーが元の位置に下がった後8秒間保持して固定します。

ご注意

- 最初に脚を少し閉

